

展示設計特記仕様書

1 委託業務の目的

本業務は、流山が発祥の地である「白みりん」について、歴史や料理への効果を学ぶことができ、味覚などを通じた体験ができる「白みりんミュージアム」に係る展示設計（基本設計・実施設計）業務を行うことを目的とする。

2 委託業務の内容

本業務は、以下の業務等について市と受託者が協議のうえ進めていくものとする。

(1) 基本設計

- ア デザインコンセプトの立案・確立
- イ 展示空間構成の検討（展示ストーリー、ゾーニングなど）
- ウ 展示構成表の作成
- エ 展示演出・手法の検討
- オ 情報コンテンツの提案
- カ 基本設計図面（ゾーニング・動線計画図、平面図、電気設備平面図など）の作成
- キ 基本設計に基づく展示製作・施工費及び展示維持管理費の概算費用の算出
- ク 展示製作・施工の概略工程計画の作成

(2) 実施設計

- ア 展示概要説明書の作成
- イ 実施設計図面（展示グラフィック、展示ケース、映像・音響システム、造作物、情報コンテンツ、展示演出照明に係る図面など）の作成
- ウ 展示製作・施工の工程表の作成
- エ 展示維持管理費の算出
- オ 展示製作・施工費の積算

(3) 共通

- ア 外部有識者へのヒアリング
- イ 建築、設備設計との協議・調整

3 展示物設計にあたっての留意事項

(1) 展示に求める事項

- ア 市民はもとより、市外観光客にも流山市と白みりんの歴史・文化に興味や関心を持ち、楽しんでもらえるよう、史実が確かな内容については、考証をしっかりと行うとともに、誰にでも分かりやすい展示とすること。
- イ 白みりんの昔と現代の製造方法等の学習コンテンツとして、新鮮な体験・体感できるコンテンツとすること。
- ウ 白みりんの歴史等の映像を見られるスペースを用意すること。
- エ 白みりんのコト体験プログラムとして、白みりんの料理等の体験ができ、空間を有効活用できるキッチンスタジオを設える計画とすること。
- オ 白みりんの味を比べることができるアトラクションを用意すること。
- カ お土産等の物販エリアと飲食エリアとの統一感や関連性を配慮すること。
- キ 流山市立博物館の展示内容と重複しない内容であることはもちろんのこと、流山本町全体で相乗効果が生まれリピーターが増える魅力的な展示や仕組みとし、その誘客効果が流山市全体へ波及し、回遊性の向上や経済の活性化につながることを目標とすること。
- ク ただ鑑賞するだけでなく、来場者が好奇心や期待感を持てる参加型の展示手法とすること。
- ケ 展示品の構造・デザインは、ユニバーサルデザインと操作性、安全性に配慮されていること。
- コ 展示内容が陳腐化しないよう、時代の変化に即して容易に更新が行える等の工夫があること。
- サ 館内の解説等は、日本語のほか、外国人観光客が利用できるよう、英語に対応すること。また、中国語（簡体字・繁体字）、韓国語の対応についても検討すること。
- シ 省エネルギー化や高額な消耗品の交換頻度、汎用部品の採用など経済性に配慮するなど、展示の維持管理費が、極力低廉となるような提案を検討すること。また、施設の令和6年度から令和10年度までの5年度分の運用・保守に係る費用を設計成果品に記載すること。
- ス 連携協力事業者の選定に当たっては、出来得る限り流山市の地元企業を活用し、連携をとって業務をすすめること。